

ベトナムで手足口病が流行(更新 1)

2011 年 7 月 23 日 ProMED 情報 (Saigon Giai Phong, English Edition)



ベトナムでは手足口病の深刻な流行が起きています。

ホーチミン市の予防医学局の責任者によると、17,000 名の手足口病(HFMD)患者が報告されたため警告を出しました。特にベトナム南部だけで 13,600 名の患者が報告されています。そのうち、90 名が死亡しました。今回の流行は、疫学的に新しい病原体で、重症合併症を引き起こす遺伝子型のサブタイプ C4 のエンテロウイルス 71(EV71)によるといわれています。

他方、ホーチミン市のパスツール研究所によると、今年南ベトナムでは 15,000 名の患者のうち 50 名が死亡し、昨年同期の 3 倍とのこと。多数の患者が発生しているのは、ホーチミン市とドンナイ Dong Nai 省、ビンズオン Binh Duong 省、ロンアン Long An 省、およびティエンザン Tien Giang 省といった南部の省です。流行のピークは、8～11 月の間なので、さらに多数の子供が手足口病に感染するかもしれないと警告しています。